



のびる ほどっ子!

ほっとな未来へ 3C!

令和5年10月31日
横浜市立保土ヶ谷小学校
学校長 宮生 和郎

子どもたちの“^{おもい}想”「まち」へ

～「まち」とともに、ほっとな未来へ3C～ 校長 宮生和郎

10月8日、9日、4年ぶりに開催された保土ヶ谷「宿場まつり」に本校3年生と6年生の児童がブースを出して参加し、イコット広場を中心に「いらっしやいませ!」と訪れた人たちに声をかける子どもたちの元気な声がこだましました。そして2日間朝早くから、2日目は雨の中、ボランティアとしてご参加くださった保護者の皆様には改めて感謝申し上げます。子どもたちは保土ヶ谷の「まち」を盛り上げようと数か月前から「ほどっこの時間（総合的な学習の時間）」で準備を重ねてきました。子どもたちの様々なイメージやアイデアが歴史紙芝居や歴史クイズ、歴史射的などの形になり、訪れた人を楽しませてくれました。子どもたちがデザインしたスタンプラリーがとても好評で500人近くの方が景品交換に見えたそうです。もし2日目が雨でなければその倍以上になったのではないかと思います。昔遊びコーナーではけん玉やディアボロ、コマをその場で体験



【イコット広場ブース前の行列】



【けん玉パフォーマンス】

ることができ、練習をしてきた子どもたちが訪れた人たちに分かりやすくやり方を教えていました。3年生10人、6年生5人で編成されたけん玉チームは特設ステージでけん玉の技やマツケンサンバの曲に合わせたけん玉パフォーマンスを披露し、多くの人たちを沸かせてくれました。訪れた方々からのアンケートの一つに「うちのおじいちゃんは昔から保土ヶ谷に住んでいますが、子どもたちの姿を見て、『保土ヶ谷の未来は大

丈夫だなあ、うれしいなあ。』とうれしそうでした。ありがとうございます。」とありました。このメッセージから、子どもたちの宿場まつりを盛り上げたい、「まち」をよくしたいという想いが届いたのだなと感じました。この2日間に体験したことで得たこと（経験というエネルギー）は子どもたちをはじめ、関係した人たちの心にいろいろな形で残り、近い未来遠い未来で、豊かなコミュニケーションのもと、創造したり挑戦したりいろいろな色の花を咲かせてくれるのでしょうか。

保土ヶ谷小第1回けん玉教室、検定会開催

10月21日（土）にはメンズクラブの方々に主催していただき、第1回けん玉教室、検定会を開催することができました。当日は元世界チャンピオンの飯島啓介さんがトップレベルの技を披露したり、一人ひとりに丁寧に教えたりしてくださり、一段とけん玉の魅力が広がりました。後半のけん玉大会では6年生の葛西航輔さんが初代チャンピオンに輝きました。



【元世界チャンピオンの実演】